

時代の変化に応じた 社会におけるデジタル化の変遷

デジタル化の進展に伴いお客さまと当社の接点やコミュニケーションの在り方は大きく変わりました。スマートフォンやインターネットの急速な普及により、かつては店頭や自動契約機等、対面での取引が中心でしたが、今ではWebサイト、アプリ等デジタルチャネルでのサービスの提供が中心となっています。

デジタル化は今後も止まることなく急速に進んでいきます。当社はこれからも時代やお客さまのライフスタイルの変化に柔軟に対応しながら、デジタルを軸としたサービスの拡充に取り組んでいきます。

〔デジタル化の変遷〕

1962
創業より有人店舗を展開



1983
自動与信
システム稼働

1995
自動契約機導入



通信からネットワークへ
インターネット出現

1998
インターネットでの契約受付開始／
コンビニエンスストアでの
入金収納代行サービスの開始

2004
インターネット返済の開始



常時接続が日常に
スマートフォンの普及

2013
スマホ専用アプリの導入



2011
スマホ専用
サイトの開設

2015
Web完結型
新規契約サービスの
導入

2018
生体認証機能の導入



2025
マイナンバー
カード認証
による本人確認
サービス開始

2026
キャッシュレス決済
アプリへチャージが
できるサービス開始

デジタルを前提とした
ビジネスモデルへの
スピーディな転換

〔当社の変遷〕

1962年3月
大阪市に
関西金融設立

1963年4月
PC(プロミス
チェック)
システムによる
消費者金融業
を開始

1974年6月
業界初の
コンピュータ
システム稼働

1980年1月
プロミスに
商号変更

1996年9月
東京証券取引所の
市場第一部に上場

2000年5月
三和銀行(現 三菱UFJ銀行)、
アプラス、プロミスとの合併
会社モビットを設立(同年9
月営業開始)

2004年6月
三井住友フィナンシャル
グループ(以下、SMFG)
と広範な業務提携およ
び資本提携で合意(契約
締結は同年9月)

2010年10月
三洋信販を吸収合併

2012年4月
SMFGによるプロミスの
完全子会社化

2012年7月
プロミスをSMBCコンシュー
マーファイナンスに商号変更

2014年3月
モビットを
完全子会社化

2023年7月
三井住友カードが
SMBCモビットを
吸収合併

2024年10月
三井住友カードによる
当社の連結子会社化

最も変化の激しい20年・Webとリアルでの顧客接点の変化

この20年の間にお客さまの新規申込チャネルは、来店が中心となるリアルチャネル(店頭窓口、自動契約機)からWebへ移行してきました。来店しなくてもWeb上で申し込みから契約手続まで可能となっており、この変化は利便性の向上だけでなく、お金の借り方や返し方にも影響を与えています。

キャッシュレス決済の拡大により、お金は手に持つものから、画面上で管理・移動するものへと変化しました。プロミスの取引においても、カードやスマートフォンを使ってATMから借り入れ・返済する方法に加え、インターネットからの振り込みや返済、口座振替等、現金のやり取りを行うことなくWeb上で借り入れや返済が可能となっています。

